

## 第 267 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 5 月 13 日(火) 開催 会場: Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社ファンチップ 代表者 白濱 伸幸 氏 (<https://funtip.co.jp/>)

【住所】非公開 【設立】2014 年 7 月 【資本金】3,000 千円

【事業概要】現役エンジニアが立ち上げた Web システム開発会社で、SES 事業の利益で自社サービス「タイピング plus」を開発しています。タイピング plus はタイピング日本一を決める大会を 4 連覇したタイピング女王 miri 監修で、日本全国の大学・専門学校・塾・一般企業への普及を目指す「タイピング練習 × チャット × アバター × ゲーム」で日本の未来を変えるサービスです。

<タイピング plus を利用するメリット>

- ・個人利用者: 楽しみながらタイピング力向上、就職・転職できる、一生使えるアカウント。
- ・大学・専門学校: 就職優位性を持つ「タイピング特待生」をつくれる。
- ・一般企業: タイピングが早い社員を採用できる、既存社員のスキルアップ、タイピング練習を大義名分としたチャットでの社員間コミュニケーションによる離職率低下、一生使えるアカウントへの投資が福利厚生になる。

<課題> スマホのフリック入力が主流となり、2012 年をピークに若者のタイピング力は低下していています。その反面、就職後の PC 使用率は高く、新卒社員のタイピング速度が遅い問題が起きています。タイピング練習サービスは 50 以上も散見しているが、社員や学生のタイピング力を管理するものは少なくデファクトスタンダードがありません。繰り返し練習し続ける苦行を「楽しく継続」させる仕組みが無い。タイピングができない人はいないため、仕事のペーススキルであるタイピング力が遅いことに危機感を持っている人が少ない。今後は ChatGPT 等の AI を活用する社会になるものの、この AI への入力が遅いと生産性が低くなってしまふ。

<今後の展望> 就職・転職支援、産学連携、タイピング力の TOEIC 的な資格、日本全国にタイピング塾(FC)をつくる。

【コメント】実際に 1 分あたり何文字のタイピングが出来るかを検証してみると学生 100 文字、社会人 200 文字、タイピング練習者 400 文字となり、これだけ目に見えて生産性が変わってくるのがよく分かります。同社のサービスの目的は、『日本国民全員のタイピング力を 2 倍にすることで生産性を高め、2040 年の日本を変える!』こと。今回、資金調達を行い、営業や広報にも力を入れ、経営管理体制を強化していきたいそうです。

2. Evolution 株式会社 代表者 劉 曉燕 (AKIRA RYU) 氏 (<https://evolution-remotework.com/>)

【住所】東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー 23F 【設立】2023 年 11 月 【資本金】5,000 千円

【事業概要】世界中からグローバルレベルで優秀な人材を集め、最先端の AI 分析と 3 段階スクリーニングを実施したリモートワーク人工知能プラットフォームです。最短 7 日以内に世界中の優秀なグローバルエンジニアやチームをスピーディーに採用し、貴社のエンジニア採用の悩みを解決します。

- 【特色】
1. 採用スピードが 5 倍速い: AI を駆使し、迅速なマッチングを実現します。
  2. 採用費用を 50% 節約: 高いコストな紹介手数料を削減します。
  3. 5 時間以上の技術テスト: 3 段階の技術力評価を実施し、レベルの高い人材を保証します。

弊社の人工知能プラットフォームは、従来の求人サイトや人材紹介会社と比較して、圧倒的な優位性があります。固定費用、スカウトメール、HR 日程調整面接、1 次面接、2 次面接など不要です。エンジニア採用の生産性は 10 倍以上アップすることができます。弊社はグローバルレベルでハイスペックなエンジニアをフォーカスしています。AI エンジニア、DX エンジニア、ビッグデータ分析、ブロックチェーンなど、ハイスペックなグローバルエンジニアのデータベースを有しています。例えば、大手 EC 会社や AI ツール会社などは弊社人工知能プラットフォームを通じて、僅か 2 週間で優秀な AI エンジニアを採用し、新規プロジェクトを迅速に立ち上げることができました。

【コメント】日本社会の課題として 2030 年には労働需要に対する労働供給が 644 万人の人手不足になると予測されており、人材業界の課題としては、①紹介手数料が高い、②採用効率が悪い、③マッチング精度が悪いという理由で、短時間で優秀な人材を採用することが出来ていないのが実態のようです。この課題に対して、同社ではグローバルエンジニア人材データベースとして、米国シリコンバレーのエンジニアの選考基準に沿った形で、なおかつ専門家との面接を行った上で 10580 人以上のエンジニアの調達が可能とおっしゃっていました。

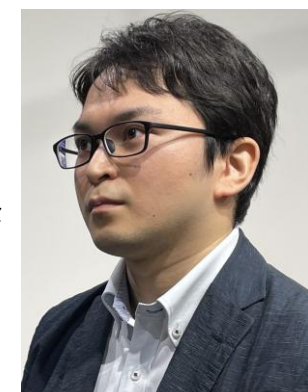
3. 株式会社ワークロボティクス 代表者 保坂 謙史郎 氏 (<https://www.work-robotics.co.jp/>)

【住所】千葉県習志野市芝園 2-1-1 千葉工業大学 9 号館 【設立】2018 年 4 月 【資本金】1,000 千円

【事業概要】千葉工業大学発の技術を基に点検困難な狭隘空間向けの小型 6 クローラロボット「WAC」シリーズを開発・提供しています。本ロボットは小型ながら高い走破力で段差や障害物を乗り越え、大きな可搬重量により長時間の駆動と高いカスタマイズ性を実現。安全かつ高効率な点検ソリューションで社会インフラの維持管理に貢献します。

インフラ事業者(メンテナンス、自治体、鉄道、建設、高速道路等)を主要顧客とします。ハードウェア・ソフトウェア双方の完全自社開発体制が強みであり、現場ごとの細かな要求に応じたロボットの迅速なカスタマイズ・導入を実現します。2025 年度より定期点検に採用されます。今後は採用現場を増やしたいと考えています。

【コメント】同社のビジョンは、『点検が安全に楽しく行える未来』で、そのために現場で本当に役立つロボットを開発し、それを実現できるエンジニアを育成すること。千葉工業大学内に事務所を構えているので、優秀な学生を活用し、エンジニアとして育成することが出来るそうです。具体的な事例としては、①高速道路の裏面吸音板点検の場合、裏面吸音板を外す手間が大幅に減り、全面を点検することが可能になった。②歩道橋点検の場合、エレベーターシャフト内からロボットを挿入することで、交通規制が不要となり、日中点検が可能になった。③天井裏点検の場合、点検口から見えないエリアも点検することが可能になったそうです。



【感想】今回の発表会は発表企業同士で盛んな交流がされておりました。

どの発表企業も各々の分野でイノベーションを起こし、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にお申し出を頂けると幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆  
第 268 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時: 令和 7 年 6 月 10 日(火) 13:30~15:00  
■会 場: Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA  
(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード  
(株)TNP スレッズオブライト 井 汲 美 樹